



Statistics
Canada

Statistique
Canada

Canada

参考5



Statistics Canada
www.statcan.gc.ca

ビジネスレジスター 大企業のプロファイリング

発表内容

- なぜプロファイリングをするのか?
- ビジネスレジスター
 - 母集団 universe
 - 資源
 - 維持・管理戦略
- プロファイルにおける対象の選定プロセス
- プロファイリング
- 品質保証
- 意義

なぜプロファイリングをするのか？

- 各分野別の調査において、複雑な構造の企業が存在するがゆえに母集団名簿（フレーム）にかかる負担を軽減するため。

統計調査と公表に焦点を当てている。

- さまざまな分野別の調査担当からのフィードバックを増やすことにより、構造の品質と信頼性を向上させるため。

概念と手順の整合性を保証する。

ビジネスレジスターにおける活動中の事業の母集団

- 2011年12月(時点)の包括的な調査母集団ファイル
 - 企業
 - 単独 事業所企業 – 243 万レコード
 - 複数事業所企業 – 2万6千レコード
 - 事業所
 - 単独 事業所企業 – 243 万レコード
 - 複数事業所企業 – 13万2千レコード

資源

- 平均 38 人のプロファイラー

毎日情報を更新

- 資源の不足

2万6千社の複数事業所企業の構造の変化を十分に監視するためには不十分。

維持・管理戦略

- 上位5千社：
 - プロファイル
 - 2～3年に1回
 - 企業集団における変化が探知されたとき。
 - 維持
 - 必要に応じてプロセス・フィードバックを実施。
 - 監視
 - 更新は各分野別の調査担当及び調査票回収担当による。

維持・管理戦略

- その他の2万1千社:

- 品質保証監視

- 必要に応じた維持

- 以下の関与の増大:

各分野別の調査担当の母集団名簿(フレーム)専門官
調査票回収担当

維持・管理戦略

- 単純な構造(の企業)
 - 1つの法的主体／1つの事業主体
- 以下によって更新:
 - 税務記録による置換
 - 各分野別の調査担当
 - 調査票回収担当

維持・管理戦略

- 単純な複数事業所企業
 - 1つの法的主体が複数の事業を行っているケース。
- 更新は以下のように分担している:
 - 各分野別の調査担当
 - 産業が1つの企業
 - プロファイラー
 - 複数の産業にまたがる企業

維持・管理戦略

- 大きく複雑な(企業)構造
 - 複数の法的主体、事業活動(から構成され)、(複数の)産業分類(にまたがっている)。
- 更新は以下の分担で行われている:
 - プロファイリング活動
 - ビジネスレジスターと企業プログラムマネージャー

プロフィールにおける対象の選定プロセス

■ ステップ 1:

- 順位付けシステムが以下の変数を用いてプロフィールの対象となる上位5千単位を選定:

複数の法的主体(から構成されているか)

複数の事業主体(から構成されているか)

複数の産業分類(にまたがっているか)

複数の州(にまたがっているか)

連結(決算を行っているか)

プロフィールにおける対象の選定プロセス

■ ステップ 1:

- 特定の産業及び地域については規模変数(収入、資産、雇用者数)も考慮するが、プロフィールにおける対象の選定においては重要な要素ではない。
- 複雑さの方がより重要な要素である。(例えば)規模変数の値が大きいが、単純な構造の企業はプロフィールリング以外の方法で更新される。

プロフィールにおける対象の選定プロセス

■ ステップ 2:

- 企業プログラムマネージャー(EPM)プログラムの一部として単位を選定する。
 - 企業統計課に割り当てられた単位についてはプロファイリングと調査票回収活動(の両方)を徹底するために実際に訪問する。
 - 各人25~30単位。
 - 単位は上位から下位まで2~3年に1回はプロファイリングされる: 変化の度合いに依存する。
 - (システムからの)更新要求メッセージにより単位は絶えず監視される。

プロフィールにおける対象の選定プロセス

■ ステップ 2:

- 複雑な企業の局内プログラム(CIP)に選定される単位。
- ビジネスレジスターCIPチームに割り当てられた単位は調査及び電話によってデータ収集され、全てプロフィールされる。
- 各人100単位。
 - 単位は上位から下位まで2~3年に1回はプロファイリングされる - 変化の度合いに依存する。
 - (システムを経由した各分野別の調査担当、調査票回収担当からの)更新要求メッセージにより単位は絶えず監視される。

プロフィールにおける対象の選定プロセス

■ ステップ 2:

- 分野別調査担当に対して高い重要性で選定される単位 - 上位5千単位の残り
 - ビジネスレジスターのプロファイリング・チームに割り当てられた単位に対して、必要に応じて、調査及び／あるいは電話によるデータ収集を実施。
 - 企業構造の上から下まで2年に1回はプロファイリングされる - 変化の度合いに依存する。
 - (システムを経由した各分野別の調査担当、調査票回収担当からの)更新要求メッセージにより単位は絶えず監視される。

プロフィールにおける対象の選定プロセス

■ ステップ 3:

● プロファイリングを優先する単位の選定

- プロファイラー : EPM, BR CIP, BRのプロファイリング・チームはそれぞれの責任によりプロフィールされる単位の順序を決める。
- すでに、(一定の)方法論に従って作成されたプロセスによって、(プロフィールされる対象は)それぞれどこが担当するか選定されているので、プロファイラーが考慮するのは:
 - 最後にプロフィールされた日
 - 調査された単位数
 - 未処理の(システムからの)メッセージの数
 - 未処理の(システムからの)メッセージの性質
 - 分野別調査における(企業)構造の影響

プロファイリング

- 行政記録データ
- フィードバック
 - 調査票回収 – 調査に対する回答
 - 分野別調査担当からのフィードバック
 - 外部のデータによるシグナル
- 調査
 - インターネット
官報公示, 企業のホームページ、他

プロファイリング

■ 報告者へのコンタクト

- 電話照会

ビジネスレジスターのプロファイラー

- 訪問照会

企業プログラムマネージャー (EPM) のプロファイラー

プロファイリング

■ 頻度

- 2～3年に1回

調査票回収活動を通じて判明した変化の数と(企業)構造に対する変化の影響に依存する。

- 暫定処置

更新と変更は報告者へのコンタクトなしに行う。

プロファイリング

- 1年当たりの報告者の数
 - 企業プログラムマネージャー (EPM)
 - 1人 1年当たり10 単位 – 100% コンタクト
 - 複雑な企業の局内プログラム(CIP)
 - 1人 1年当たり30 ~35単位 – 95% コンタクト
 - ビジネスレジスターのプロファイリング・チーム
 - 1人1年当たり65~70 単位 – 50% ~60% コンタクト

プロファイリング

■ 報告による方法の採用

- プロファイラーは全てのケースについて情報を収集し、まとめる。
- 報告者は(企業の組織図など)自身に関する情報を要求された場合には提供しなければならない、あるいは自発的に提供することがありうる。: その情報は電子媒体あるいは紙媒体のどちらでも良く、報告者の選択に任されている。

プロファイリング

- 報告者に対する関連する研修
 - 研修不要：プリセットの調査票ではない。
 - 必要に応じ情報が要求される。

プロファイラーは調査と行政記録を通じて全ての変更を確認しようとする。

解消されなかった事項についてのみ報告者に要求。
 - この方法は報告者負担を大きく減らし、データ収集に良い影響をもたらす。

品質保証

■ 品質保証チーム

(企業)構造の変化及び(企業)構造(に関する情報)の更新における手順と概念の一貫性と妥当性を監視する。

■ 合同スタッフプロセス

複数の分野別調査に影響を与える単位については、データの関連性と正確さに与える影響の大きさに応じて、影響を受けると判断された全ての関連分野別調査の担当が参加して検討される。

品質保証

- プロファイラーは通知システムを通じて割り当てられた(企業)構造の品質を保障する。

ビジネスレジスターシステムの利用者によって、それぞれの責任担当の(企業)構造について、処理が行われたいかなる変更も、正確性や一貫性を、以下から割り当てられたプロファイラーが検討する。

各分野別の調査担当

調査票回収担当

外部データ処理担当

統計プログラムに対する意義

- プロファイリング目的に対する毎年の予算を配分
- 各分野別の調査担当の期待と信用
 - プロファイリングについて
 - 支援プログラムについて
 - 調査マネージャーと研修
 - 品質保証プロセス
 - 通知と月次報告

統計プログラムに対する意義

- 整合性と一貫性：
 - フレームデータ
 - 概念
 - 手順
 - 方法論